

J.S.Bach

クリスマス オラトリオ

Weihnachts-Oratorium BWV 248 (第1部～第3部)



指揮：三澤 洋史 (新国立劇場指揮者)

福音史家・テノール：西垣 俊朗

ソプラノ：大谷 知佳子 アルト：朴 瑛実 バス：西垣 俊紘

コンサートマスター：木村 英道

コンティヌオ・チェロ：神農 清志 オルガン：大城 朋子
合唱・管弦楽：浜松バッハ研究会・豊橋バッハアンサンブル

2006年12月23日(土) 午後2時開演

カトリック浜松教会 聖堂

主催：浜松バッハ研究会 共催：豊橋バッハアンサンブル

後援：浜松市 浜松市教育委員会 財団法人浜松市文化振興財団

静岡県合唱連盟 浜松市合唱連盟 中日新聞東海本社 静岡新聞社・静岡放送

指揮者：三澤洋史 (みさわ ひろふみ)



群馬県出身。国立音楽大学声楽科卒業後、指揮に転向。1984年ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。バッハに深く傾倒しておりマタイ、ヨハネ受難曲、口短調ミサ曲など全て暗譜でレパートリーに有する。2000年暮れから2001年初めにかけての浜松バッハ研究会ドイツ演奏旅行では、エアフルト、ハレでの口短調ミサ曲成功に加え、ライプチヒ聖トマス教会の新年音楽礼拝を聖トマス教会聖歌隊に代わり務めた。1999年より2003年までバイロイト音楽祭にて祝祭合唱団の指導スタッフの一員として従事。この経験を生かし、ワーグナーのスペシャリストとして講演や放送の分野でも活躍。2001年9月からは新国立劇場合唱団合唱指揮者に就任。新国立劇場の全公演に合唱指揮者として関わる。2003年9月からの一年間は音楽ヘッド・コーチも兼任。声楽を伴うあらゆる様式の音楽に精通。言葉と音楽、ドラマと音楽の接点を追求している。作品にミュージカル「おにころ」「愛はてしなく」「ナディーン」などがある。東京藝術大学、愛知県立芸術大学、京都教育大学非常勤講師や、名古屋芸術大学客員教授、及び滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール専任指揮者などを経て、現在新国立劇場合唱団指揮者、洗足学園音楽大学客員教授。東京バロックスコアーズ音楽監督、浜松バッハ研究会、志木第九の会、名古屋モーツァルト200合唱団常任指揮者。

福音史家・テノール：西垣俊朗 (にしがき としろう)



大阪音楽大学大学院修了。在学中より宗教曲に手を染め、カンタータ、オラトリオの演奏には欠かせないコンサート歌手として活躍。特にバッハの「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等のエヴァンゲリスト歌いとして高く評価されている。1978年、79年、84年、90年と4回にわたり名テノール、エルンスト・ヘフリガー氏と「マタイ受難曲」で協演。84年、85年には日本オラトリオ連盟のソリストとしてヨーロッパ各地で演奏し好評を博す。その後もクリストファー・ホグウッド氏、ヘルムート・ヴィンシャーマン氏、アグネス・グロスマン氏等の指揮のもと、内外で演奏している。オペラの面でも東京と関西で活躍しており、特にモーツァルトとロッシーニのオペラの主役には定評がある。神戸市文化奨励賞、兵庫県芸術奨励賞受賞。浦山弘三、エルンスト・ヘフリガーに師事。大阪音楽大学、京都女子大学講師。

ソプラノ：大谷知佳子 (おおたに ちかこ)



新潟大学教育学部特設音楽科卒業。浜松声楽研究会主催オペラ「蝶々夫人」にスズキ役で出演。第5回浜松市民オペラブレコンサート「Vivaモーツァルト」に<<魔笛>>のパミーナ役で出演。2004年浜松交響楽団「市制記念日を祝う音楽の集い」に出演。静岡AOI第10回「静岡の名手たち」オーディション合格。第6回浜松市民オペラプレイベント「OPERA GALA 2006」に出演。浜松声楽研究会会員、ヴォーカルグループ「茶夢」、浜松ラヴィアンクールメンバー。浜松と進女声コーラス指揮者。田代雅子氏に師事。

アルト：朴 瑛実 (ぼく てるみ)



早稲田大学第一文学部文学科ドイツ文学専修卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学中に安宅賞受賞。芸大バッハカンタータクラブにて小林道夫氏の薫陶を受け、これまでに多くの教会カンタータと受難曲、マニフィカートのソリストを務める。平成16年度友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。第14回日仏声楽コンクール第1位。声楽を佐々木正利、朝倉蒼生の各氏に師事。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程独唱専攻1年次在学中。

バス：西垣俊紘 (にしがき としひろ)



1981年兵庫県神戸市生。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。1985年日生オペラ劇場「魔笛」パパゲーノの子役で出演。1998年和歌山音楽コンクール高校生の部第2位、1999年兵庫県高校生独唱独奏コンクール金賞、2004年和歌山音楽コンクール大学生の部第2位(1位なし)各受賞。2002年東京オペラプロデュース第66回定期演奏会「恋するサー・ジョン」(ウィンザーの陽気な女房たち)のシンプル役で、新国立劇場でのオペラデビューを果たす。2003年奏明会(東京藝術大学卒業生の会)主催のコンサートに出演、同年浜松バッハ研究会クリスマスコンサートにて、バッハカンタータのソリストを務める。芦屋市主催の名曲コンサート、モーツァルト「レクイエム」のソリストなど多数出演。2005年には「震災10年神戸からの発信」ほたる火コンサート協会の主催でリサイタルを行う。松本薫平、原田茂生、多田羅迪夫の各氏に師事。

浜松バッハ研究会管弦楽団

浜松交響楽団、浜松室内楽愛好会、カペラ・アカデミカ、浜松バロックアンサンブル、ヤマハ吹奏楽団などから、バッハおよびバロック音楽をこよなく愛する有志が集い、バッハ研究会公演のたびに組織される。少ない練習にもかかわらずレベルの高いアンサンブルで好評を得ている。

- | | | | |
|-------------|-----------------------|-------------|-----------|
| 第1ヴァイオリン： | 木村英道、田邑利香、中林尚之、松山礼美 | | |
| 第2ヴァイオリン： | 小野弘達、神農佐知子、東儀 温、福本はる奈 | | |
| ヴィオラ： | 小林 勝、徳弘太郎、山内絵理 | | |
| チェロ： | 神農清志、山内 明 | コントラバス： | 田邑元一 |
| フルート： | 木村伊都子、福家真史 | ファゴット： | 曾布川利貞 |
| オーボエ & オーボエ | ダモーレ：村瀬正巳、大橋弥生 | オーボエ ダカッチャ： | 久米慶子、大村 稔 |
| トランペット： | ロジャー・マナース、福田眞茂、西村天志 | ティンパニ： | 今泉好雅 |
| オルガン： | 大城朋子 | | |

合唱メンバー

ソプラノ： 浅野朋子、今村陽子、金子ますみ、川田咲度、佐藤 玲、丹羽彩子、丹羽多美子、
萩野美雪、長谷川悠、早川真央、溝田照子、三宅ゆりの、向井智恵
アルト： 安藤美津恵、飯田素子、伊藤道子、金子恒江、鬼頭計枝、國井みさえ、黒田浩子、
小林益世、鈴木理恵、清木穂名美、浪崎加代、長谷川明子、彦坂克美、
細倉ゆずる、馬淵京子、森田悦子、山田かおり、山田セキ子
テノール： 川口 強、柴原貞幸、戸島準一郎、丹羽哲也
バス： 安藤佑治、大石泰由、河野周平、鈴木秀明、清木 達、萩野 潔、溝田博和、安井研一

ステージマネージャー： 早川徳次

スタッフ： 早川美香、河野善子、佐藤 馨、長谷川正仁、小貫勇作、白濱太郎、伏見洋人、
末永雄一郎、河野真剛、豊田祐子

録音スタッフ：福本信夫、新井 明

合唱団員募集

きょうの私たちの演奏は如何でしたか？

バッハは非常に難解だと思われるかもしれませんが、実際に歌ってみると
とても自然で親しみやすい音楽です。あなたもご一緒に歌ってみませんか？
合唱経験の有無は問いません、家族での参加、遠隔地からの参加も歓迎します。

浜松バッハ研究会

主な練習場： 積志公民館 (浜松市 積志町 1825)
練習日時： 毎週土曜日 19:00 - 21:30
月1回 日曜日 13:00 - 17:00 三澤先生の練習
会 費： 月額 2,500円 (学生 2,000円、高校生以下 1,500円)
連絡先： 河野周平 Tel & Fax : 053-585-3364
e-mail : <okasan2@za.tnc.ne.jp>
ホームページ： <http://www.tcp-ip.or.jp/~bach/>

豊橋バッハアンサンブル

主な練習場： 新川小学校 (豊橋市 前田中町 8番地の23)
練習日時： 毎週金曜日 20:00 - 21:30
月1回 日曜日 13:00 - 17:00 浜松 三澤先生の練習
会 費： 月額 1,500円
連絡先： 安井研一 Tel & Fax : 0532-47-0676
ホームページ： <http://www.geocities.jp/bach0532/>

次回演奏会予定

2007年11月10日(土) 浜松市福祉交流センターホール
指揮 三澤洋史 管弦楽 浜松バッハ研究会管弦楽団
演奏予定曲目 J. S. Bach カンタータ140番「目覚めよと呼ぶ声あり」BWV 140
カンタータ147番「主よ人の望みの喜びよ」BWV 147
ミサ曲 イ長調 BWV 234

カトリック浜松教会の小林陽一神父様、秋山正和教会委員長様はじめ
多くの方々のご理解とご協力を賜りました、心より御礼申し上げます。

メリークリスマス、良い年をお迎え下さい！

浜松バッハ研究会、豊橋バッハアンサンブル一同

楽曲概説

作曲者	ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685-1750)
演奏機会	クリスマス (第1部-12月25日、第2部-12月26日、第3部-12月27日)
初演	1734年
ドイツ語歌詞	・聖書 ルカ伝 2.1-20 ・複数回登場するコラール (いずれもマルティン・ルターの作) Gelobet seist du, Jesu Christ 第7曲、第28曲 Von Himmel hoch, da komm' ich her 第9曲、第17曲、第23曲 ・独唱曲などの自由詩 作者不明
編成	独唱 (S,A,T,B)、合唱4部 (S,A,T,B) 管弦楽—トランペット3、ティンパニ、フルート2、オーボエ2 (第2部は4) 弦 (ヴァイオリン2部、ヴィオラ) 通奏低音 (ファゴット、チェロ、コントラバス、オルガン)
使用楽譜	Barenreiter

歌詞対訳

第1部：降誕節 第1祝日のためのカンタータ

第1曲 合唱

Jauchzet, frohlokket, auf, preiset die Tage,

rühmet, was heute der Höchste getan!

Lasset das Zagen, verbannet die Klage,
stimmet voll Jauchzen und Fröhlichkeit an!
Dienet dem Höchsten mit herrlichen Chören,
laßt uns den Namen des Herrschers verehren!

歓声を上げよ、喜び踊れ、

さあ、この日々を讃えよ、
いと高き方が今日成されたことを
ほめたたえよ!

怯えを捨て、嘆きを追いほらい、
歓呼と楽しさに満たされ歌い出せ!
輝かしき合唱と共にいと高き方に仕え、
私たちに統治者の御名を崇めさせよ!

第2曲 ルカ2.1&2.3-6

Es begab sich aber zu der Zeit,
daß ein Gebot von dem Kaiser Augusto ausging,
daß alle Welt geschätzt würde.
Und jedermann ging, daß er sich schätzen ließe
ein jeglicher in seine Stadt.
Da machte sich auch auf Joseph aus Galiläa,
aus der Stadt Nazareth, in das jüdische Land
zur Stadt David,
die da heißt Bethlehem;
darum, daß er von dem Hause
und Geschlechte David war;
auf daß er sich schätzen ließe mit Maria,
seinem vertrauten Weibe,
die war schwanger.
Und als sie daselbst waren, kam die Zeit,
daß sie gebären sollte.

そのころ

皇帝アウグストより命令が出され、
全国民が登録することになった。
そこで人々はみな登録のため、
各々自分の故郷に帰った。
ヨセフもまたガリラヤの
ナザレという町より、ユダヤの土地
ダビデの町、
ベツレヘムという所に行って行った。
ヨセフはダビデの家系であり血統なので、

彼の妻となるマリヤと共に
登録をするためであった。

マリヤは身重であった。
彼らがそこに居る間に、
マリヤは子を生む時を迎えた。

第3曲 レチタティーヴォ・アルト

Nun wird mein liebster Bräutigam,
nun wird der Held aus Davids Stamm
zum Trost, zum Heil der Erden
einmal geboren werden.
Nun wird der Stern aus Jakob scheinen,
sein Strahl bricht schon hervor.
Auf, Zion, und verlasse nun das Weinen,
dein Wohl steigt hoch empör!

今こそ私の最愛の花婿、
今こそダビデの末裔なる勇士は
地の人々の慰め、救いのため、
一度を限りに生まれようとしている。
今こそヤコブより上る星が輝くだろう。
その光は既に外に溢れる。
さあ、シオンよ、もう泣くのをやめよ!
お前の幸は高く昇り行く。

第4曲 アリア・アルト

Bereite dich, Zion, mit zärtlichen Trieben,
den Schönsten, den Liebsten bald bei dir zu sehn!
Deine Wangen
müssen heut viel schöner prangen.
eile, den Bräutigam sehnlischst zu lieben!

備えよ、シオンよ、優しき心にて、
美しき者、尊き君をすぐにも傍に迎えるべく！
お前の頬は
今日このうえなく美しく輝くだろう。
さあ、花婿に切なる愛を捧げよ！

第5曲 コラール

Wie soll ich dich empfangen
und wie begegn' ich dir?
O aller Welt Verlangen,
o meiner Seelen Zier!
O Jesu, Jesu, setze
mir selbst die Fackel bei,
damit, was dich ergötze,
mir kund und wissend sei!

いかに私はあなたを迎え、
またいかにあなたをもてなすべきか？
おお全ての世の憧れ、
おお私の魂の飾り！
おおイエスよ、イエスよ、
私に自ら松明を灯し、
そしてあなたを喜ばすものを
私に教え知らせてください！

第6曲 ルカ2.7

Und sie gebar ihren ersten Sohn
und wickelte ihn in Windeln
und legte ihn in eine Krippen.
denn sie hatten sonst keinen Raum in der Herberge.

そしてマリヤは男の初子を生み、
彼を布にくるみ
飼い葉おけに寝かせた。
宿には居場所がなかったためである。

第7曲 コラール・ソプラノとレチタティーヴォ・バス

Er ist auf Erden kommen arm,
Wer will die Liebe recht erhöh'n,
die unser Heiland vor uns hegt?
daß er unser sich erbarm
Ja, wer vermag es einzusehen,
wie ihn der Menschen Leid bewegt?
und in dem Himmel mache reich
Des Höchsten Sohn kömmt in die Welt,
weil ihm ihr Heil so wohl gefällt,
und seinen lieben Engeln gleich.

彼は地上に貧しい姿で来られる。
誰がこの愛を正しく讃えられよう？
私たちの救い主は私たちを育てたもうた。
彼は私たちを憐れんでくださり、
そう、誰が知り得ることか、
人々の苦しみがどれほど彼を動かせるかを。
そして天にて豊かに
いと高き方の御子が世に来られるのは、
それほど世の救いが彼には喜ばしいためだ。
また彼の愛しき天使らと
等しくして下さる。
かくて彼自ら人として生まれたまう。
主よ、憐れんでください！

so will er selbst als Mensch geboren werden.
Kyrieleis!

第8曲 アリア・バス

Großer Herr, o starker König,
liebster Heiland, o wie wenig
achtetest du der Erden Pracht!
Der die ganze Welt erhält,
ihre Pracht und Zier erschaffen,
muß in harten Krippen schlafen.

大いなる主、おお強き王、
愛しき救い主よ、おおいかにむなしきものと
あなたはこの世の栄華をみなすのか！
全世界を守り、
世の栄華と飾りを造られる方が、
硬き飼い葉おけの中に眠らねばならぬとは。

第9曲 コラール

Ach mein herzliebtes Jesulein,
mach dir ein rein sanft Bettelein,
zu ruhn in meines Herzens Schrein,
daß ich nimmer vergesse dein!

ああ、私の心より愛しき幼子イエスよ、
清く柔らかな寝床を整え、
私の心の奥殿にてお休みください。
私があなただを忘れることのないように！

第2部：降誕節 第2祝日のためのカンタータ

第10曲 シンフォニア（器楽のみによる前奏曲）

第11曲 ルカ2.8-9

Und es waren Hirten in derselben Gegend
auf dem Felde bei den Hürden,
die hüteten des Nachts ihre Herde.
Und siehe, des Herren Engel trat zu ihnen,
und die Klarheit des Herren leuchtet um sie,
und sie furchten sich sehr.

さてこの辺りに羊飼い達が
羊らと共に野宿しており、
その群れの夜の見張りをしていた。
すると、主の使いが彼らに近づき、
主の栄光が彼らを照らしたので、
彼らはひどく恐れた。

第12曲 コラール

Brich an, o schönes Morgenlicht,
und laß den Himmel tagen!
Du Hirtenvolk, erschrecke nicht,
weil dir die Engel sagen,
daß dieses schwache Knäbelein
soll unser Trost und Freude sein,
dazu den Satan zwingen
und letztlich Friede bringen!

第13曲 ルカ2.10-11

Und der Engel sprach zu ihnen:
"Fürchtet euch nicht,
siehe, ich verkündige euch große Freude,
die allem Volke widerfahren wird.
Denn euch ist heute der Heiland geboren,
welcher ist Christus,
der Herr, in der Stadt David."

第14曲 レチタティーヴォ・バス

Was Gott dem Abraham verheißten,
das läßt er nun dem Hirtenchor erfüllt erweisen.
Ein Hirt hat alles das zuvor
von Gott erfahren müssen.
Und nun muß auch ein Hirt die Tat,
was er damals versprochen hat,
zuerst erfüllet wissen.

第15曲 アリア・テノール

Frohe Hirten, eilt, ach eilet,
eh ihr euch zu lang verweilet,
eilt, das holde Kind zu sehn!
Geht, die Freude heißt zu schön,
sucht die Anmut zu gewinnen,
geht und labet Herz und Sinnen!

第16曲 ルカ2.12

Und das habt zum Zeichen:
Ihr werdet finden das Kind in Windeln gewickelt
und in einer Krippe liegen.

第17曲 コラール

Schaut hin, dort liegt im finstern Stall,
des Herrschaft gehet überall!
Da Speise vormals sucht ein Rind,
da ruhet itzt der Jungfrau'n Kind.

第18曲 レチタティーヴォ・バス

So geht denn hin, ihr Hirten, geht,
daß ihr das Wunder seht:
und findet ihr des Höchsten Sohn
in einer harten Krippe liegen,
so singet ihm bei seiner Wiegen
aus einem süßen Ton
und mit gesamtem Chor
dies Lied zur Ruhe vor!

第19曲 アリア・アルト

Schlafe, mein Liebster, genieße der Ruh,
wache nach diesem vor aller Gedeihen!
Labe die Brust, empfinde die Lust,
wo wir unser Herz erfreuen!

差し出でよ、おお美しき朝の光よ、
そして天空に暁をもたらせ！
羊飼いの民よ、恐れるな、
天使らがお前に告げる—
このか弱い嬰兒が
私たちの慰めそして喜びであられ、
更にサタンを屈服させ、
遂に平和をもたらしてくださいと！

すると天使が彼らに言った。

「恐れるな、
さあ、私はお前達に大なる喜びを告げる。
それは全ての民に訪れる喜びである。
今日、お前達に救い主が生まれた。
彼こそキリスト、
ダビデの町に生まれた主である。」

神がアブラハムに約束したことが、
成就したと今神より羊飼いたちに告げさせよ。
1人の羊飼いが全てを前もって
神より知らされる定めであった。
そして今また羊飼いが、
神がかつて約束された御業の
成就したことを最初に知らされた。

喜べる羊飼いたちよ、急げ、さあ急げ、
いつまでもためらわずに、
急いで、優しき幼な子を見に行け！
さあ、喜びはあり余るほどになれ、
美しさを得るべく求めよ、
行って心と思いを新たにせよ！

またそのしるしとして、
お前たちは嬰兒が布にくるまれて
飼葉おけの中に寝ているのを見るであろう。

ごらん！ 彼はその暗き馬小屋にて眠る。
その統治は全てに及ぶ。
つい先まで牛が食物を求めていたところに、
今は乙女の子が憩う。

さあ行け、羊飼いたちよ、行って
奇蹟を見るがいい。
そしていと高き者の御子が
硬き飼葉おけにて眠るのを見たなら、
御子の揺り籠の傍らで甘き調べを歌え、

そして皆で
その歌を憩いのために歌おう。

眠りたまえ、私の最愛の方よ、憩いを楽しみ、
その後皆の繁栄のため目覚められよ！
胸を力づけよ、喜びを感じよ、
そこに私たちの心は喜ぶ！

第20曲 ルカ2.13

Und alsobald war da bei dem Engel
die Menge der himmlischen Heerscharen,
die lobten Gott und sprachen:

するとたちまち御使のもとに
多くの天の軍勢が現われ、
神を讚美して言った。

第21曲 合唱 (ルカ2.14)

"Ehre sei Gott in der Höhe
und Friede auf Erden
und den Menschen ein Wohlgefallen."

「いと高き所には神に栄光あれ、
そして地には平和あれ、
そして人々には善意あれ。」

第22曲 レチタティーヴォ・バス

So recht, ihr Engel, jauchzt und singet,
daß es uns heut so schon gelinget!

さらば御使よ、喜び歌え、
今日私たちのために予言が
見事に成就したことに！
さあ！ 私たちもあなた方と共に歌おう。
私たちの喜びもあなた方に劣ることはない。

Auf denn! Wir stimmen mit euch ein,
uns kann es so wie euch erfreun.

第23曲 コラール

Wir singen dir in deinem Heer
aus aller Kraft Lob, Preis und Ehr,
daß du, o lang gewünschter Gast,
dich nunmehr eingestellt hast.

私たちはあなたの軍勢に入って歌おう、
力の限り讚美と栄光を。
あなた、おお久しく待ち望まれし客は、
今こそ現われたまう。

第3部：降誕節 第3祝日のためのカンタータ

第24曲 合唱

Herrscher des Himmels, erhöere das Lallen,
laß dir die matten Gesänge gefallen,
wenn dich dein Zion mit Psalmen erhöht!
Höre der Herzen frohlockendes Preisen,
wenn wir dir itzo die Ehrfurcht erweisen,
weil unsre Wohlfahrt befestiget steht!

天の統治者よ、舌足らずの言葉を聞き入れ、
拙き歌を聴き届けたまえ！
シオンが詩篇によりあなたを崇めるなら。
心を踊らす讚美を聴きたまえ！
私たちが今あなたに畏敬の念を表わす時、
私たちの繁栄が堅く築かれたため。

第25曲 ルカ2.15

Und da die Engel von ihnen gen Himmel fuhren,
sprachen die Hirten untereinander:

そして御使達が去って天に行くと、
羊飼いは互いに言い合った。

第26曲 合唱 (ルカ2.15)

"Lasset uns nun gehen gen Bethlehem
und die Geschichte sehen,
die da geschehen ist,
die uns der Herr kundgetan hat."

「さあベツレヘムに行き、
そこで起きた出来事を見よう。
そこでは見られるはずだ、
主が私たちに告げられたことが。」

第27曲 レチタティーヴォ・バス

Er hat sein Volk getröst',
er hat sein Israel erlöst,
die Hülff aus Zion hergesendet
und unser Leid geendet.
Seht, Hirten, dies hat er getan;
geht, dieses trifft ihr an!

主はその民を慰めてくださる。
主はイスラエルを贖い、
救いをシオンより送り、
私たちの悩みを終わらせてくださる。
さあ、羊飼いだよ、主は成し遂げられた。
行け！ お前たちは主の御業に出会うだろう！

第28曲 コラール

Dies hat er alles uns getan,
sein groß Lieb zu zeigen an;
des freu sich alle Christenheit
und dank ihm des in Ewigkeit.
Kyrieleis!

主がこれら全てを私たちに成して、
その大いなる愛を示してくださった。
全てのキリスト教徒はこれを喜び、
これを永遠に主に感謝せよ。
主よ、憐れんでください！

第29曲 二重唱—ソプラノとバス

Herr, dein Mitleid, dein Erbarmen
tröstet uns und macht uns frei.

Deine holde Gunst und Liebe
deine wundersamen Triebe
machen deine Vätertreu wieder neu.

主よ、あなたの思いやり、あなたの憐れみは
私たちを慰め解き放つ。
あなたの優しき慈しみと愛、
あなたの驚くべき溢れる思いは、
あなたの父の真実を再び新たにしてくださる。

第30曲 ルカ2.16-19

Und sie kamen eilend
und funden beide, Mariam und Joseph,
dazu das Kind in der Krippe liegen.
Da sie es aber gesehen hatten,
breiteten sie das Wort aus,
welches zu ihnen von diesem Kind gesaget war.
Und alle, für die es kam,
wunderten sich der Rede,
die ihnen die Hirten gesaget hatten.
Maria aber behielt alle diese Worte
und bewegte sie in ihrem Herzen.

さて彼らは急いで行き、
マリヤとヨセフのふたりと、
飼い葉おけに寝ている嬰兒を見つけた。
彼らはこのことを見て、
この子について
(御使らより) 語られたことを言い広めた。
するとその話を聞いた者は皆、
羊飼い達の語ったことを怪しく思った。

しかしマリヤはこれらの言葉全てを受けとめ、
心の中で思いをめぐらせた。

第31曲 アリア・アルト

Schließe, mein Herze, dies selige Wunder
fest in deinem Glauben ein!
Lasse dies Wunder, die göttlichen Werke
immer zur Stärke
deines schwachen Glaubens sein!

私の心よ、この聖なる奇蹟を
お前の信仰の内に固く抱け！
この奇蹟、神の御業を
常に支えとして
お前の弱き信仰心にとどめよ！

第32曲 レチタティーヴォ・アルト

Ja, ja, mein Herz soll es bewahren,
was es an dieser holden Zeit
zu seiner Seligkeit
für sicheren Beweis erfahren.

そう、私の心はそれをとどめよう。
この快い時にそれが
彼の救いによる幸いの
確かな証として聞き知ったことを。

第33曲 コラール

Ich will dich mit Fleiß bewahren,
ich will dir leben hier,
dir will ich abfahren,
mit dir will ich endlich schweben
voller Freud ohne Zeit
dort im andern Leben.

私はあなたを懸命に保とう。
私はあなたのためにここに生き、
あなたに向かって旅立ち、
遂にはあなたと共に漂おう、
喜びに満ち、時間のない、
そこにある別の命に。

第34曲 ルカ2.20

Und die Hirten kehrten wieder um,
preiseten und lobten Gott
um alles, das sie gesehen und gehöret hatten,
wie denn zu ihnen gesaget war.

そして羊飼い達は帰路に着き、
神を讚美した。
全て、彼らが見聞きしたことが、
彼らに告げられた通りだったからである。

第35曲 コラール

Seid froh dieweil,
seid froh dieweil,
daß euer Heil
ist hie ein Gott und auch ein Mensch geboren,
der, welcher ist
der Herr und Christ
in Davids Stadt, von vielen auserkoren.

喜び楽しみ、
喜び楽しみ、
お前たちの救い主が
ここに神 また人として生れたことを。
この人こそ
主でありキリスト、
ダビデの町にて、
多くの者より選ばれた方である。

終曲 (第24曲 合唱の繰り返し)

